

平成 29 年度事業実績報告（総括）

I 事業報告

平成 29 年度の主な出来事を概観します。昨年は九州北部豪雨災害の水害や台風などの自然災害による災害廃棄物処理が問題となり、我々、協会の役割が益々重要になって参りました。

熊本地震の災害廃棄物につきましては、二次仮置場をはじめ多くの自治体で仮置場の閉鎖がなされたところであり、県の目標である、発災から 2 年での処理が概ね完了できたと思っております。これもひとえに皆様方のこれまでのご尽力の賜と感謝申し上げます。

協会内の出来事を振り返りますと、これまで各支部で行われた不法投棄撤去作業や青年部の環境学習などが評価され、一昨年の熊本県の「くまもと環境賞」受賞に続き、昨年は、「地域環境保全功労者」、「循環型社会形成推進功労者」の 2 つの環境大臣表彰を授与されるという全国でも希な快挙を成し遂げました。

一方で、災害廃棄物処理の関係もあり、労働災害の発生が増加した面も見受けられました。

この様な背景を受け、平成 29 年度の事業では新たに労働安全研修会を本部支部とも 2 回開催するという計画をたて、概ね計画通り行われたところです。

また、不法投棄撤去につきましては、平成 29 年度も熊本環境保全推進支援金事業として支部毎に不法投棄啓発パトロールや不法投棄廃棄物の撤去作業を計画的に実施しました。

青年部が行う環境出前講座については熊本県環境学習プログラムとして位置づけられた小学校への出前講座を 6 校行うと共に、平成 29 年度は、災害廃棄物の処理について親子で学ぶツアーや、生涯学習としてパレアでの環境学習を行うなど充実した事業となりました。

その他、全会員に配付する協会誌「スマイル」やホームページ等を通じて改正された廃掃法等の情報を会員の皆様にお伝えしたところです。

本協会が実施するこのような多くの事業は会員の方々のご理解とご協力のうえに成り立っているものであり、県内の多くの関係者や団体に信頼され期待されております。

以上のことを踏まえ平成 29 年度事業の執行状況について報告します。